

科目ナンバリング		U-LAS06 20032 SJ43										
授業科目名 <英訳>		経済原論基礎ゼミナール Introductory Seminar on Principles of Economics					担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 大黒 弘慈			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)		法・政治・経済(各論)			使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位		週コマ数	1コマ		授業形態	ゼミナール (対面授業科目)			
開講年度・ 開講期	2024・後期		曜時限	月5			配当学年	全回生		対象学生	全学向	
[授業の概要・目的]												
経済学の境界領域に横たわる問題を拾い上げることで、経済学を相対化しながら、経済そのものの本質・原理を探る。												
[到達目標]												
資本主義の基礎的な仕組みを理解するとともに、通説を疑う姿勢を身に着ける。												
[授業計画と内容]												
資本主義システムは、経済的合理性のみにもとづく閉鎖体系ではなく、それを取り巻く社会的環境に開かれている。したがって、労働力・土地・貨幣といった境界領域の分析が不可欠である。とりわけ貨幣においては、経済と社会の矛盾が複雑なかたちで現れる。しかし経済学にとってなぜか貨幣は鬼門である。このゼミでは、貨幣を含め経済学の境界に横たわる諸問題を丹念に拾い上げ、経済学の正統を相対化しながら経済学原理への導入を図る。経済思想、社会思想を広く取り上げる前期のILASセミナー：経済思想を承け、後期においてはより理論的な問題を取り上げる。以下のような課題について、それぞれ2～3週授業をする予定である。あるいは年度に応じて2～3の課題を集中的に取り上げることがある。												
1. 資本の統治と新自由主義的統治 2. 現代の貧困と資本の過剰 3. 宇野弘蔵の純粋資本主義論と方法の模写 4. 廣松渉の物象化論と価値形態論 5. 柄谷行人の交換様式論と交換過程論 6. グレーバーの負債論とオルタナティブ社会												
(授業回数はフィードバックを含め全15回とする)												
[履修要件]												
前期「ILASセミナー：経済思想」を履修しておくことが望ましい。												
[成績評価の方法・観点]												
平常点評価50点、学期末レポート50点により、総合的に評価する。なお学期末レポートを提出しない場合は0点とする。												
[教科書]												
授業中に指示する												
[参考書等]												
(参考書) マルクス『資本論』(国民文庫) ISBN:978-4272802517 宇野弘蔵『経済原論』(岩波書店) ISBN:978-4003415122												
-----経済原論基礎ゼミナール(2)へ続く↓↓↓												

経済原論基礎ゼミナール(2)

大黒弘慈 『マルクスと贋金づくりたち：貨幣の価値を変えよ（理論篇）』（岩波書店）ISBN:978-4000253215

その他、授業中に適宜紹介する。

[授業外学修（予習・復習）等]

『資本論』を各自読み進めることが望ましい。

[その他（オフィスアワー等）]